

THE RECORD

9

1998
No.466

- 権利制限改定見直しに関する意見書
- インターネット上の違法サイト対策運動を開始
- 第5回FMフォーラム開催決定
- 統計資料 - 1998年上半期新譜数

著作権関連

権利制限規定等に関する意見

権利制限規定等に関する意見書を提出

当協会は、6月26日に行われた文化庁の著作権審議会マルチメディア小委員会複製班のヒアリング席上、現行著作権法の複製に関する権利制限規定に対し、意見を述べました。

以下にその内容をご紹介します。

社団法人日本レコード協会
平成10年6月26日

1. 著作権法第102条において準用されるレコード製作者の権利制限

	問題点	意見	理由・改正の要否
第30条 (私的利用のための複製)	私的複製として認められる範囲の問題	デジタル環境の下では、私的複製にも複製権が働くべきものと考え、若し私的複製に対する権利制限が維持されるならば、「複製物を使用する者が複製できる」との規定である以上、少なくとも、使用する者のみが「権利制限」の対象とされるべきであり、その目的も英米並みに、調査・研究の範囲に限定されるべきである。 したがって、私的複製物の第三者への移転(譲渡・貸与等)は明文を以て禁止されるべきである。	現行法制定時は、レコードの私的複製に使用される複製機器は殆ど普及していなかったため、私的複製による影響が殆ど無かった。しかし、カセットテープ・レコーダの普及、その後のデジタル複製機器の登場により、その普及速度も加速している。 昨年1年間のブランクMDの売り上げは5,300万枚を記録した。その量をCDアルバムに換算すると、メーカー出荷価格ベースで、1,100億円の販売機会損失に相当するが、レコード製作者が同年中に受領した私的録音保証金は4.4億円程度に過ぎない。 又、営業レンタル、非営利貸与のCDは殆ど100%が私的所録音源となり、レコードという物体は返却されても、保護されるべきレコードそのものは複製者の手許に残り、レコード販売に多大な影響を及ぼす。 このような大量の私的複製は元来認められるべきではないところ、レコード製作者に極めて大きな影響を与えるに至った状況を考えると、この条文は第102条の準備規定から除外されるべきである。しかし、若しこの制限規定が残されるならば、英米と同等の調査・研究といった公正使用の範囲に留められるべきである。
	私的複製の規模の問題	ベルヌ条約第9条第2号、及びWIPO実演・レコード条約第16条第2号に規定されている損害テスト条項に照らし、現在の規模は、品質・量共に、「通常の利用を妨げ、正当な権利を不当に害する状況に至っていると言え。特に、外国には見られないレコード・レンタル店が日本には4,400店以上あるほか、図書館でもレコードが貸し出されているが、このようなレコードからの私的複製は禁止されるべきであり、第47条の2第2項のような規定が導入されることが望ましい。	
	私的録音・録画補償金制度の問題	デジタル機器・記録媒体による私的複製に対してこの制度が導入されているが、上記のとおり「品質の劣化がなく、通常の利用を害する」程度に私的複製が蔓延している状況にあっては、「許諾権」に基づく権利行使ができることが望ましい。 私的複製のために、複数の複製機能や高速コピー機能を有する機器は、この制度から外されるべきである。	

	問題点	意見	理由・改正の要否
第31条 (図書館等における複製)	レコードの一部複製の問題	図書館にレコードの複製機器が設備された場合、例えば、10曲収録されたCDの「各曲の半分まで」を自動的に録音できる機器でもない限り、規定にあるようなレコードの一部の複製は考えられず、全曲（フルコーラス）がコピーされる蓋然性が極めて高い。	図書館に設置された自動複製機器によるレコードの複製は、調査・研究よりも「娯楽として聴く」ために「全部を複製する」ケースが遥かに多いと考えられる。 したがって、レコードに関しては、第31条第1号の適用は除外されるべきである
第44条 (放送局等による一時的固定)	デジタル放送におけるレコードの利用方法	現在のデジタル音楽放送は、エンタテインメントを内容とし、私的複製を助長するような番組構成と告知によって営利を追求している。又、従来型の放送も近い将来、全てデジタル化が行われる方向にある。 デジタル方式で作られた番組に使用されるレコードは、音楽のデリバリーを意味することとなる。	衛星を利用する委託放送事業者の増加、放送の概念の大きな変化（放送と通信の境界の不明確化）により、デジタル放送番組の素材としてのレコードの利用価値が高まり、レコードを使うことで放送事業者は大きなメリットを受けることになる。又、現行法制定時とは番組テープの質・価格等の条件も変わり、放送局における「一時的固定」という概念も薄れてきていると言われている。 番組を通じた音楽のデジタル・デリバリーという性格が濃厚になり、番組の固定手段が大きく変わった状況の下では、デジタル放送全般について、最早、一時的固定の特恵は不要であると言える。

2. 複製の概念に関する事項

<意見> コンピュータの一時的蓄積を複製と考えるかどうかについては、複製と考えるべきである。

<理由> コンピュータのRAMへの一時的蓄積は、時間の長短の問題ではなく、このような蓄積によって、蓄積された情報の利用価値があるかどうかによって判断されるべきであり、レコード音源の一時的蓄積は、自動公衆送信の手段としての一時的蓄積（これについては送信可能化権が働く）以外にも、受信者による再送信のための一時的蓄積、現在放送と定義されているサービスで提供のための一時的蓄積（一時的固定）等、利用価値のある一時的蓄積が考えられる以上、「一時的蓄積を複製」と定義付けた上で「複製権」の対象とすべきである。

若し、一時的蓄積手段が必須とされるようなケース（例えば、CDやMD再生のための蓄積等）については、黙示の許諾があると考えられ、複製権侵害を構成するものではないと言える。

欧米においては、一時的蓄積を「複製」と解釈する方向が確立されつつあり、その中で、先進国を標榜する日本が、これと異なる解釈によって「知的所有権の国際調和」を阻害するような法制は採るべきではない。

著作権関連

「スターデジオ」放送サービスの差し止めと損害賠償請求訴訟提起について

日本コロムビア株式会社等当協会加盟レコード会社8社は、(株)第一興商によるCSデジタル音楽放送サービス「STAR digio 100」が、レコード製作者の複製権を侵害するレコード配信サービスであるとして、8月28日、同サービスの差し止めと総額1億6,720万円の損害賠償を求める訴訟を東京地方裁判所に提起しました。

この提訴は先月号でご紹介した、7月28日のレコード会社9社の訴訟に続く第二次の訴訟です。

訴訟の概要は以下の通りです。

1. 原告：

- (1)日本コロムビア株式会社
 - (2)テイチク株式会社
 - (3)ポリドール株式会社
 - (4)株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ
 - (5)株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
 - (6)株式会社ポニーキャニオン
 - (7)株式会社フォーライフレコード
 - (8)パイオニアLDC株式会社
- 補助参加人：社団法人日本レコード協会

2. 被告：株式会社第一興商

3. 請求内容（骨子）

- (1)被告は対象アーティストの商業用レコードを「STAR digio 100」放送サービスに使用してはならない、
- (2)被告は損害賠償金として総額1億6,720万円を支払え、他。

※主な理由、及び訴訟提起の背景は、基本的に前回と同様です。

インターネット上の違法サイト対策運動を開始

本年度の重点項目であります「不法複製レコード対策」の一環として、IFPIの活動と連動した活動を展開

している当協会では、MP3などの形式によるインターネット上の音楽コンテンツ違法使用をモニターし、現在その排除に努めています。

今回約90サイトでの違法行為が確認され、それらへの対策として、

①7月28日現在、違法音楽コンテンツのネットワークへの掲載が確認されたサーバーのサービス・プロバイダー、②日本国内のサービス・プロバイダーで連絡先が判明したもの、について該当する14のサービスプロバイダーに対して協力要請文書を発信しました。

この協力要請に対して、8月5日現在9社から回答がありました。そのうち、A社（違法サイト数：4件）では、違法MP3ファイル使用サイトの中、日本のサーバー使用の2件については即刻同ファイルを削除し、他の2件についてはアメリカのサーバーを使用しているため、アメリカ本国に連絡し、削除を要請したとの回答を得ました。他の8社についても、当方の要請に対し、即刻違法ファイルを削除したり、違法コンテンツ・プロバイダーに警告をするという形で積極的に協力する旨の回答を得ました。

当協会は、このような独自の活動のほか、他の音楽関係団体とも協力して、MP3違法ファイルの発見・摘発を今後も継続し、違法行為の排除を強化して参ります。

98年度貸レコード店全店調査実施

レコード協会では、毎年全国の貸レコード店を対象にその実態調査を行っていますが、第13回目の本年は3月1日から6月30日にかけて、レコード協会調査員による全国4,357店の訪店調査を終了しました。

9月発行のTHE RECORD 増刊号(EX-NUMBER)に、今回の集計結果を掲載しています。

レコード協会事務局人事

9月1日付で大森唯司（ワーナーミュージック・ジャパンから出向）が特別業務部大阪調査室調査室長に就任しました。

その他

「第5回FMフォーラム」～11月12日&13日東京国際フォーラムで開催が決定

恒例となったFM放送業界と音楽業界を結ぶビジネス・コンベンション『FMフォーラム』（主催：FMフォーラム実行委員会、後援：社団法人日本レコード協会、社団法人音楽出版社協会）が今年は秋の開催となり、11月12日（木）、13日（金）の2日間にわたって行われます。

音楽をビジネスの根幹とする両業界が運命共同体としての共通意識を持ち、その友好関係を高めると同時に、ヒット作りのためのインフラを整えて行こうという発想から始まった『FMフォーラム』は、回を重ね今年で第5回となります。参加者数も年々増加し昨年は600名を突破、二つの業界が共同し開催するユニークなビジネス・コンベンションとして、広く内外の注目を集める存在ともなっています。

（下は昨年の様相から）



さて、今年の『第5回FMフォーラム』は、開催場所を港区白金台の八芳園から有楽町の東京国際フォーラム/Cホール及び会議室に移します。それに伴い新たな試みも数多く行なわれる予定です。

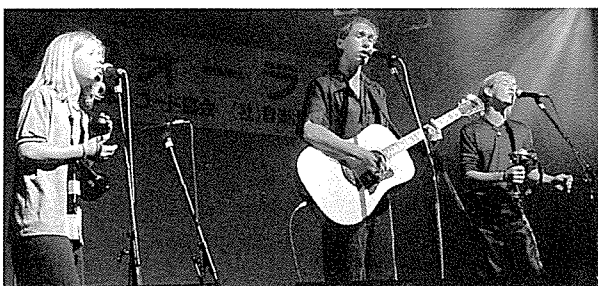
もちろん、好評のパネル・ディスカッションをはじめとするセミナー・セッションもさらなる充実化が図られ、「情報のデジタル化/インターネット関連」「映画とヒット作り」「洋楽徹底研究」など数多くのテーマ案が検討中です。また、基調演説には例年通りワールド・ワイドな視野からミュージック・ビジネスを語る世界のトップ・ビジネスマンが予定されています。一方、ビジネス面並びにエンタテインメント性が一段と強化され、マーケット&ミーティング他を通じて両業界間におけるビジネスを促進します。さらに、ライブ・ショウケースやビデオ・プレゼンテーションを通じて、アーティスト育成とヒット作りを目指します。

FMリスナーにライブを一部開放

特に、一昨年のスパイス・ガールズに続き、昨年はハンソン、メレディス・ブルックス、オール・セインツ

らがワールドワイド・ブレイクに先駆け参加するなど、大好評を博したショウケースは、そのライブ・パフォーマンスの枠を拡大し2日間にわたり実施しました。

（第4回に出演したハンソン）



今年にはさらに業界参加者だけでなく、首都圏のFM6局の全面的協力を得て、2日間総勢約1,500名のFMリスナーを招待し開催されることになりました。日本市場における洋楽アーティストの新人登竜門的色彩を帯びてきたライブ・ショウケース。今年も全世界の注目アーティスト達が一堂に会します。

すでに今年のライブ出演候補として、以下のアーティストが挙がっています（順不同）。

※出演決定アーティスト（所属メーカー名）

- ・デブラ・モーガン（ポリドール）
- ・B☆WITCHED（EPICインターナショナル）
- ・リアン・ライムス（日本コロムビア）
- ・スウォール360（7-キュリー・ミュージックエンタテインメント）
- ・N-タイス（SMEインターナショナル）
- ・ダコタ・ムーン（イーストウエスト・ジャパン）

※参加予定アーティスト

- ・エリン（キングレコード）
- ・ジェシカ・フォルカー（エイベックス）
- ・リーチェ（東芝EMI）
- ・イモーゲン・ヒープ（バイオニアLDC）
- ・イン・ムード・フィーチャリング・ジュリエット（ユニバーサル・ビクター）

など、世界を目指す強力ニュー・アーティストが目白押しです。

両業界間の親睦の場としてだけでなく、共通項である音楽を通じた両業界の発展、その核となるヒット作りの環境整備、さらにはヒット作りを実践する場としても機能し始めている『FMフォーラム』は、音楽市場活性化施策の一つとしても、その動向が大いに注目されています。

国際音楽の日「We Love Musicキャンペーン」 文化庁の後援を得てスタート

当協会機関紙「THE RECORD 98年7月号」でお知らせしました本年度の当協会需要拡大事業【国際音楽の日 We Love Musicキャンペーン】は、この度文化庁の後援を得て9月20日から10月20日まで実施する事になりました。

この全国展開のWe Love Musicキャンペーンは、キャンペーン期間中に、全国のレコード店やCD店に備え付けの応募ハガキ又は官製ハガキで、下記のクイズに応募された方の中から、抽選で1万名に3千円分の「音楽ギフトカード」をプレゼントするものです。

また、レコード店、CD店で配られる応募はがき（又はレコード店、CD店で店名スタンプを押してもらった官製ハガキ）で応募した場合は、ダブルチャンスの特典が与えられ、再度抽選を行い、「液晶画面付きポータブルDVDプレーヤ」（計10台）が当たります。

—キャンペーンクイズ—

○の中に入る文字は、なんでしょうか？

10月1日は国際○○の日

応募先：〒102-8691 東京都麹町郵便局私書箱111号
「We Love Music」キャンペーン係
締切り：10月20日当日消印有功

抽選で1万名様、 CDショップに ご招待!!



賞品総額 **30,000,000円**が当たる!

クイズに答えると、抽選で10,000名様に音楽ギフトカード3,000円分をプレゼント!
CDショップに抽選で当たる10台のポータブルDVDプレーヤは、抽選で10名様に当たる!

10月1日国際音楽の日記念「We Love Music」キャンペーン実施中。
期間：'98年9月20日(日)～10月20日(火)

10月1日は国際○○の日

コンパクトディスク用附属品規格の 改正・発行

当協会技術委員会（委員長・富塚理事）は、日本レコード協会規格「コンパクトディスク用附属品」（RIS203）を7月23日付で改正・発行しました。

これまでの規格は、1992年6月に改正されたものであり、6年が経過したことから、各社の実情に合わせてことに主眼を置き、附属品の寸法とレーベル印刷範囲の見直しを重点的に、規格書の体裁を含め、規格書全体の見直しを行いました。

なお、主な変更点は、以下のとおりです。

- ①各社の実情に合うように、レーベル印刷の範囲及び印刷の方式を、“標準スクリーン”、“全面スクリーン”、“標準オフセット”、“全面オフセット”の4つのタイプに区分して規定した。
- ②レーベル印刷範囲の“備考2.”として、レーベル印刷において、文字や線等の品質を維持するための推奨項目を追加した。
- ③表カードの用紙において、“ジュエルケース用（I型）”を“157.0 g/m²”のコート紙に限定し、“マルチケース用”は“米坪量127.9 g/m²と157.0 g/m²”のコート紙に変更した。
- ④裏カードの用紙は、“ジュエルケース用”、“マルチケース用”とも“米坪量127.9 g/m²と157.0 g/m²のコート紙”とし、“米坪量127.9 g/m²のコート紙”を追加した。
- ⑤キャップの用紙は、“ジュエルケース用/マルチケース用”と“マキシケース用”に分け、それぞれ“米坪量127.9 g/m²又は157.0 g/m²のコート紙”と“米坪量157.0 g/m²のコート紙”と規定した。

第13回 日本ゴールドディスク大賞授賞式 開催日決定

毎年当協会が主催しています日本ゴールドディスク大賞授賞式は来年第13回を迎えますが、昨年と同じ東京・渋谷のNHKホールにて、1999年3月3日（水）に開催することになりました。授賞式は今回も受賞アーティストによるライブ演奏を中心とした構成にて行う予定です。

また授賞式当日の様子は昨年同様、NHKで放送の予定です。

イタリア、海賊状況改善へ

同国政府は、EUの海賊基地という汚名を晴らし、海賊版に関する米国の優先監視国リストから除外されるよう、緊急法令を公布しました。その法律は、罰則を強化し、政府の政策を再転換するもので、夏の国会休会前に通過しました。

IFPIは、同国の海賊版が全レコードの売り上げの20%を占めると推計しています。

同国の海賊対策連合の代表でイタリア・レコード協会事務総長を兼務するマッザ氏は、「イタリアは6月初めに、多くの第三国と同等の扱いで優先監視国リストに追加された。これは、イタリアが今まで、提案されていた罰則強化を含む新しい法律を承認しなかったことにより、海賊版と闘う十分な手段を講じなかったことと、法律案の罰則を弱めたためだ」と語りました。

しかし、当初の上院法案による懲役刑の3年から5年への延長はあまりに厳しいとの上院委員会の判断により、その刑期を4年とする折衷案が同委員会によって提案されました。これは、製造と販売の両方に関わった悪質者に適用されるもので、侵害品の販売のみに関わった者には3年の懲役刑が適用されます。この折衷案に対し、アメリカ通商代表部は落胆を隠しません。

当初の法案が提出されて2年が経過したのに結論がなかなか出なかったため、イタリア中西部連合政府の大統領がその権力を以て、海賊版の販売者に対して新しい罰則を適用する法令を公布したものです。

これは緊急措置であるため、その効力は、国会と上院で採択若しくは否決されるまで、6か月毎に更新されます。また、新しい罰則として、2,850米ドルから17,140米ドル相当の罰金が科せられます。

この法令は、各地域の担当官庁によって遅滞なく施行されることが期待され、町中で販売されている海賊版に対抗する重要な手段となります。

(ビルボード 98.8.22号から)

WIPO条約批准に向け、米議会で論争

WIPOの2つの条約批准に向けた法案が、上院と下院の司法委員会で、それぞれ5月と8月に通過したに

も拘わらず、両院の間で問題が生じています。

このような事態は、下院商務委員会が既に通過した法案に対し、通商関係問題と消費者保護の問題を包含するよう見直しを迫ったことにより、従来の権限が奪われてしまうという上院側の懸念から発生したものです。

その結果、WIPO両条約対応法案の審議は、8月中には行われないうことになりました。1か月に及ぶ夏休みが明けてから、上院司法委員会と下院司法委員会・商務委員会から成る、両院協議会の会議で法案の内容が審議されることとなります。

今回の変更は、民生用電気機器産業が暗号回避機能を持った機器を作りやすくし、図書館や大学に対してデジタル時代における著作物の公正利用を拡大するものです。この変更案は又、下院の司法委員会と商務委員会のほか、商務省によるその後の監督や見直しを要求するものです。

エンタテインメント産業関係者は、「下院商務委員会が権限を持ち、且つ公正使用について条文案を盛り込み、これを商務省が監督できるようにすることについて、上院の主要議員達は不愉快な想いをしている」と語っています。

下院では、機器の設計と公正使用に関する下院商務委員会の追加的改正が伴わなければ、法案は通過しないだろうと考えられています。9月に議会が再開されても、上院が10月の早い時期に休会となるため、時間はあまりありません。

WIPO条約対応の新しい下院法案は、インターネット放送事業者の素材へのアクセスとレコード会社とアーティストへの使用料支払いを保証するレコードの法定許諾制度を要求しています。

WIPO両条約は、サイバースペースにおける著作権保護技術を回避することで著作物の取引をインターネット上で行うことは違法であるということを確認しています。アメリカ法案は、そのほかにも、事情を知らずに著作物を違法に送信したオンライン・サービス・プロバイダーと電話会社の責任を限定しています。

(ビルボード 98.8.15号から)

会議メモ (主なもの)

(8月1日～8月31日)

8・3 日本GD大賞、賞検討WG	8・10 レコード制作基準倫理委員会	8・25 ミュージックPOD関係会議
8・4 調査統計部会	8・17 音楽ギフトカード委員会	発売日検討委員会
見本盤回収プロジェクト	8・18 発売日検討委員会	法制委員会
8・7 JASRAC委員会	営業部会	8・26 カラオケマーク検討会
	法制委員会WG	調査統計部会
	8・19 業務委員会	8・27 貸レ対策委員会
	再販プロジェクト	8・28 ビデオキャンペーンプロジェクト
	8・20 制作者講習会プロジェクト	ビデオ部会
	8・21 著作隣接権審議会	



HIT CHART DATA

1998年7月度(97年6月21日～98年7月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
----	------	--------	-----	-----

■邦楽・洋楽合同シングル BEST7

1.	HOME/The Wild Wind	B'z	98.7.8	BM
2.	HONEY	ラルク・アン・シエル	98.7.8	SME
3.	花葬	ラルク・アン・シエル	98.7.8	SME
4.	ALIVE	SPEED	98.7.1	TF
5.	浸食～lose control～	ラルク・アン・シエル	98.7.8	SME
6.	HOT LIMIT	T.M.Revolution	98.6.24	AR
7.	I for You	LUNA SEA	98.7.1	UV

■洋楽シングル BEST7

1.	マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン～タイタニック・愛のテーマ～	セリーヌ・ディオーン	98.1.14	EPIC
2.	ティアーズ・イン・ヘヴン	エリック・クラプトン	97.10.25	WJ
3.	チェンジ・ザ・ワールド	エリック・クラプトン	96.7.25	WJ
4.	インターギャラクティック	ビースティ・ボーイズ	98.7.8	TO
5.	ソー・ブラインド	ハーレム・スキャーレム	98.7.5	WJ
6.	チャイナ・グローブ	ドゥービー・ブラザーズ	98.7.5	WJ
7.	ユア・イマジネーション	ブライアン・ウィルソン	98.6.24	BMG

■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7

1.	海のYeah!!	サザンオールスターズ	98.6.25	V
2.	Mother Father Brother Sister	Misia	98.6.24	BMG
3.	POP LIFE	JUDY AND MARY	98.6.24	SME
4.	crimson	相川七瀬	98.7.8	CT
5.	HEAT WAVER	TUBE	98.7.1	SME
6.	SING A SONG	福山雅治	98.6.24	BMG
7.	IMAI MIKI from 1986	今井美樹	98.7.1	FL

■クラシックアルバム BEST7

1.	ヨーヨー・マ・プレイズ・ピアソラ	ヨーヨー・マ	97.10.29	SME
2.	WITH LOVE	オリジナル・サウンドトラック	98.5.8	SME
3.	プエノスアイレスの夏	小松亮太	98.7.1	SME
4.	NHK連続テレビ小説「天うらら」	ナカリヤコフ	98.6.25	WJ
5.	プロコフィエフ：「ロメオとジュリエット」抜粋	デュトワ～NHK交響楽団	98.6.17	PO
6.	旅立ち	古澤巖	98.7.1	SME
7.	ジャポネスク	宮本文昭	98.7.18	SME

■洋楽アルバム BEST7

1.	NOW 8	チャンバワンバ 他	98.6.24	TO
2.	ハロー・ナスティ	ビースティ・ボーイズ	98.6.27	TO
3.	タイタニック	オリジナル・サウンドトラック	97.12.12	SME
4.	ダンスマニア 10	E-ROTIC 他	98.7.16	TO
5.	SING OR DIE-WORLDWIDE VERSION-	DREAMS COME TRUE	98.7.16	TO
6.	スーパーナチュラル	DES'REE	98.6.24	SME
7.	ジャマイカ・ミー・クレイジー	インナー・サークル	98.6.25	EW

※AL：アルファミュージック/AO：アムラ・オータウン・レコード/AR：アンティノスレコード/AVT：エイベックス/BG：ビーグラムレコーズ/BM：ルームスレコーズ/BME：バンダイ・ミュージックエンタテインメント/BMG：BMGジャパン/C：日本コロムビア/CA：カナリー企画/CR：日本クラウン/CT：カッティング・エッジ/EP：ゼティマ/EW：イーストウエスト・ジャパン/FH：ファンハウス/FL：フォーライフレコード/JE：ジャニーズ・エンタテインメント/JF：J-FRIENDS P./K：キングレコード/KT：キティエンタープライズ/ME：メルダック/MME：マーキュリー・ミュージックエンタテインメント/PC：ポニーキャニオン/PG：ポリグラム/PI：パイオニアLDC/PO：ポリドール/PS：ポリスター/QT：パルコ/RO：ロックイットレコード/SME：ソニー・ミュージックエンタテインメント/TA：ニュートーラス/TDK：TDKコア/TE：テイチク/TF：トイズ・ファクトリー/TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO：東芝EMI/UV：ユニバーサルビクター/V：ビクターエンタテインメント/VAP：バップ/VF：ヴェルファーレ/WJ：ワーナーミュージック・ジャパン/XR：ゼロ・コーポレーション/ZA：ザインレコーズ

■アルバム (20作品)

【邦 楽】

●2ミリオン

海のYeah!!/サザンオールスターズ/98.6.25 (V)

●クワドラプル・プラチナ

BELOVED/GLAY/96.11.18 (PO)

●トリプル・プラチナ

POP LIFE/JUDY AND MARY/98.6.24 (SME)

Mother Father Brother Sister/Misia/98.6.24 (BMG)

●ダブル・プラチナ

crimson/相川七瀬/98.7.8 (CT)

●プラチナ

SING A SONG/福山雅治/98.6.24 (BMG)

IMAI MIKI from 1986/今井美樹/98.7.1 (FL)

HEAT WAVER/TUBE/98.7.1 (SME)

●ゴールド

STUDIO GHIBLI SONGS/安田成美 他/98.5.21 (TJC)

FAMILY/スガシカオ/98.6.24 (KT)

ファーストタイム/モーニング娘。/98.7.8 (EP)

【洋 楽】

●プラチナ

ゴジラ THE ALBUM/オリジナル・サウンドトラック/98.5.13 (SME)

NOW 8/チャンバワンバ 他/98.6.24 (TO)

●ゴールド

グレイテスト・ヒッツ1973-1988/エアロスミス/97.4.23 (SME)

ヨーヨー・マ・プレイズ・ピアソラ/ヨーヨー・マ/97.10.29 (SME)

グロリア!/グロリア・エステファン/98.5.27 (SME)

ネヴァー・セイ・ネヴァー/ブランディー/98.6.17 (EW)

ハロー・ナスティ/ビースティ・ボーイズ/98.6.27 (TO)

SING OR DIE-WORLDWIDE VERSION-/DREAMS COME TRUE/98.7.16 (TO)

ダンスマニア 10/E-ROTIK 他/98.7.16 (TO)

■シングル (21作品)

【邦 楽】

●ミリオン

HOME/The Wild Wind/B'z/98.7.8 (BM)

●ダブル・プラチナ

There will be love there-愛のある場所-/the brilliant green/98.5.13 (SME)

ALIVE/SPEED/98.7.1 (TF)

HONEY/ラルク・アン・シエル/98.7.8 (SME)

浸食 lose control /ラルク・アン・シエル/98.7.8 (SME)

花葬/ラルク・アン・シエル/98.7.8 (SME)

●プラチナ

DESTINY/MY LITTLE LOVER/98.5.13 (TF)

恋の大阪/八島義郎/98.5.21 (CA)

サマーナイトタウン/モーニング娘。/98.5.27 (EP)

未来へ/Kiroro/98.6.24 (V)

HOT LIMIT/T. M. Revolution/98.6.24 (AR)

I for You/LUNA SEA/98.7.1 (UV)

●ゴールド

Vivid Colors/ラルク・アン・シエル/95.7.6 (SME)

夏の憂鬱 [time to say good-bye] /ラルク・アン・シエル/95.10.21 (SME)

月下の夜想曲/MALICE MIZER/98.2.11 (C)

Rhapsody in Blue/DA PUMP/98.6.24 (AVT)

love the island/鈴木あみ/98.7.1 (SME)

oh-darling/convertible/98.7.8 (AVT)

ふわふわ ふるる/トーコ/98.7.15 (PC)

Be yourself/知念里奈/98.7.15 (SME)

翼になれ/V6/98.7.15 (AVT)

レコード生産実績

1998年7月度(98年7月1日～98年7月31日)

1. オーディオディスク

単位：数量：千枚・巻、金額：百万円

		7月実績						1998年(1月～7月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
C	邦洋	12,586	34	84	7,841	16	81	102,844	38	101	63,333	19	98
		129	0	67	80	0	69	753	0	66	422	0	69
	計	12,716	35	84	7,921	16	81	103,597	38	101	63,756	19	98
D	邦洋	17,645	48	108	31,545	64	112	116,927	43	112	193,626	59	111
		6,361	17	92	9,571	19	96	49,330	18	94	71,407	22	93
	計	24,006	65	103	41,117	84	108	166,257	61	106	265,033	80	105
アログ	邦洋	30,232	82	96	39,386	80	104	219,771	81	107	256,960	78	107
		6,490	18	91	9,652	20	95	50,083	19	94	71,829	22	93
	計	36,721	100	95	49,038	100	102	269,854	100	104	328,788	100	104
合計	邦洋	70	0	63	81	0	66	366	0	86	443	0	81
		46	0	494	70	0	502	223	0	148	328	0	148
	計	116	0	96	150	0	111	589	0	102	772	0	101
合計	邦洋	30,302	82	96	39,467	80	104	220,137	81	107	257,403	78	107
		6,535	18	92	9,722	20	96	50,306	19	94	72,157	22	93
	計	36,837	100	95	49,188	100	102	270,443	100	104	329,560	100	104

2. オーディオテープ

		7月実績						1998年(1月～7月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
カセット	邦洋	1,841	100	110	1,448	99	100	12,584	100	99	9,962	99	94
		7	0	163	11	1	167	59	0	98	74	1	89
	計	1,848	100	110	1,459	100	101	12,642	100	99	10,036	100	94
カートリッジ	邦洋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋	1,841	100	110	1,448	99	100	12,584	100	99	9,962	99	94
		7	0	163	11	1	167	59	0	98	74	1	89
	計	1,848	100	110	1,459	100	101	12,642	100	99	10,036	100	94

3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

		7月実績						1998年(1月～7月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	邦洋	4,794	100	22	992	100	28	42,345	100	44	8,234	98	48
		0	0	0	0	0	0	38	0	48	136	2	58
	合計	4,794	100	21	992	100	28	42,383	100	44	8,370	100	48

4. ビデオレコード

		7月実績						1998年(1月～7月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	邦洋	928	30	103	2,331	23	103	6,126	32	94	15,978	25	89
		2,207	70	123	7,905	77	124	13,209	68	106	48,041	75	109
	合計	3,134	100	116	10,236	100	118	19,335	100	102	64,019	100	103

5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

		7月実績						1998年(1月～7月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	邦洋	38,685	83	96	50,648	82	102	283,085	82	104	339,596	82	103
		4,794	10	21	992	2	28	42,383	12	44	8,370	2	48
	合計	43,479	93	96	51,640	84	102	325,468	94	104	347,966	84	103
ビデオ	邦洋	3,134	7	116	10,236	17	118	19,335	6	102	64,019	16	103
		46,614	100	71	61,876	100	100	344,803	100	89	411,985	100	101
	合計	49,748	107	71	72,112	100	100	364,138	106	91	476,004	100	101

備考 1. 本年実績は、会員会社「28社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

1998年1～6新譜数

1998年（平成10年）の1～6月に発売された新譜数を集計し、その構成比率を图示しました。

図1 オーディオレコード新譜数構成比

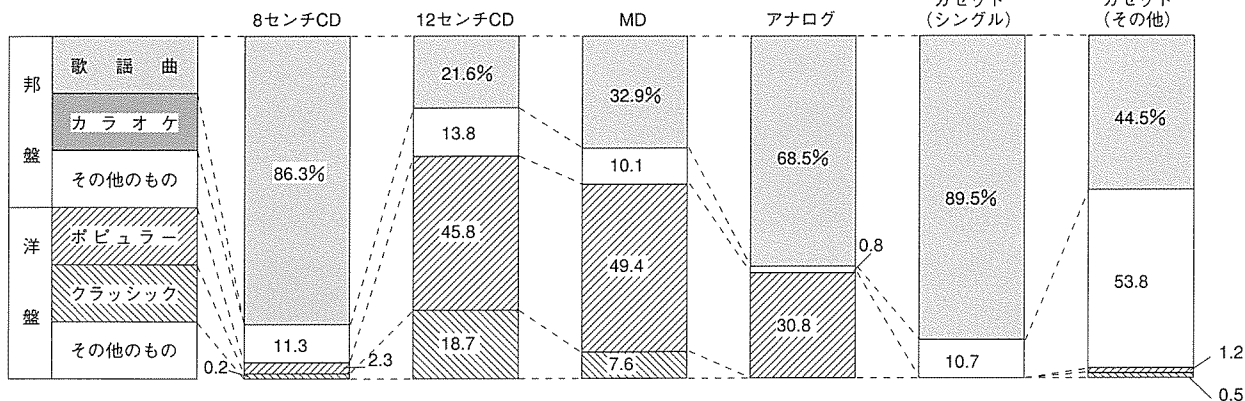


表1 オーディオレコード／複合型レコード (CD-G・CD-1など) 新譜

単位：枚 (巻)

種	類	8センチCD	12センチCD	MD	アナログ	カセット		複合型		合計	
						シングル	その他	CD-G	その他		
邦盤	歌謡曲	演歌	290	159	0	0	281	160	0	0	890
		ポップス	336	379	0	15	18	10	0	2	760
		ニューミュージック	483	1,089	26	74	3	12	0	2	1,689
	小計		1,109	1,627	26	89	302	182	0	4	3,339
	洋盤	軽音楽	5	149	2	0	0	8	0	0	164
		民謡・純邦楽	11	121	0	0	28	100	0	0	260
		教育・教材・童謡・童話	14	118	0	0	1	46	0	3	182
		アニメーション	109	417	0	1	7	52	0	12	598
		クラシック	1	133	6	0	0	1	0	0	141
		カラオケその他	0	0	0	0	0	0	52	66	118
邦盤計		1,254 (116)	2,672 (105)	34 (76)	90 (125)	338 (99)	402 (86)	52 (87)	110 (54)	4,952 (103)	
洋盤	ポピュラー	ロック・ディスコ	24	2,017	37	10	0	0	0	1	2,089
		ジャズ・フュージョン	2	721	1	29	0	0	0	0	753
		ポピュラーソング	3	447	0	1	0	0	0	3	454
		映画音楽	0	120	0	0	0	0	0	2	122
		その他	0	154	1	0	0	5	0	0	160
	小計		29	3,459	39	40	0	5	0	6	3,578
洋盤	クラシック	2	1,413	6	0	0	2	0	0	1,423	
	その他	0	2	0	0	0	0	0	8	10	
洋盤計		31 (65)	4,874 (106)	45 (161)	40 (70)	0 (-)	7 (-)	0 (-)	14 (93)	5,011 (106)	
合計		1,285 (113)	7,546 (106)	79 (108)	130 (101)	338 (99)	409 (87)	52 (87)	124 (57)	9,963 (104)	

備考：()内は対前年比

図2 ビデオレコード新譜数構成比

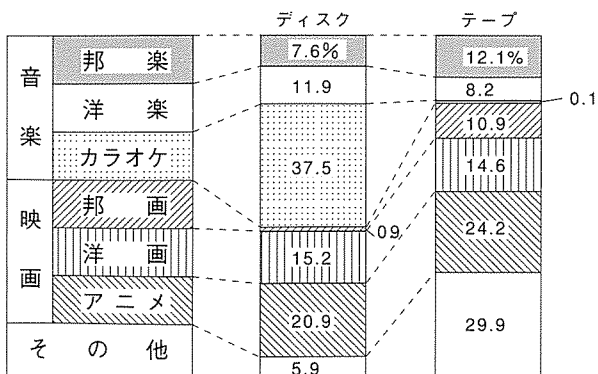


表2 ビデオレコード新譜数

単位：枚 (巻)

種類	ディスク	テープ	合計
邦楽	58	156	214
洋楽	91	106	197
カラオケ	286	1	287
邦画	7	140	147
洋画	116	188	304
アニメ	159	311	470
その他	45	384	429
計	762 (108)	1,286 (87)	2,048 (94)

備考：()内は対前年比

10月1日は国際音楽の日

「We Love Music キャンペーン」が9月20日から～10月20日に実施されます。

RIA
Recording Industry Association of Japan

1998年9月号

発行人 池口 頌夫

編集人 木村 三郎

発行日 1998年9月10日

発行 社団法人 日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F

TEL.03-3541-4411 (代)

FAX.03-3541-4460 (代)

URL:<http://www.japan-music.or.jp/>